

# あけましておめでとうございます

元日の清々しい青空の下、皆で初詣。  
風が少しひんやりと感じられましたが、あたたかな日差しが降りそそぐ屋上から  
「今年も良い年になりますように」と願いました。



# 緑愛会だより

第103号

〒190-0161

東京都あきる野市入野811

社会福祉法人 緑愛会

指定介護老人福祉施設

あたご苑

あたご苑 ケアハウス

このたび石川県能登地方を震源とする大規模な地震により犠牲となられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

## 新年のご挨拶



常務理事

奥秋 利郎

明けましておめでとうございます。

今年、令和6年は昭和であれば99年目にあたります。昭和の初めには世界恐慌のあおりを受けて不況に陥り、第二次世界大戦の悲劇を経験しましたが、戦後は急速な復興と、朝鮮戦争に伴う特需を経て、高度経済成長期であった68年には国民総生産で世界第2位の経済大国となりました。80年代には米国との貿易摩擦が激しくなり、政府は円高対策として利下げを進め、90年代にはバブルが崩壊し雇用・設備・債務等リストラを迫られた企業が急増したのです。現在に至る経済力の停滞は「失われた30年」とも呼ばれています。新しい年は、我国が30年あまり続く経済の停滞から抜け出せるかどうかの岐路にあると考えます。昭和に築いた「経済大国」の幻想を捨て、世界で再び飛躍するにはどうすればよいのでしょうか。

日本は今後高齢化で医療や介護など社会保障の負担が増すこととなります。「革命的な転換は欲しない、国民的な選択が安定と停滞を生む」。変わらない社会は良いことに思えますが、成長への道を阻むと考えます。改革をしないで支援ばかり訴えるのは甘言に他ならないと聞きます。変化を受け入れ、一人ひとりの力を集めて成長する努力をしましょう。今年こそ！

## 新年のご挨拶



施設長

奥秋 有記

新年おめでとうございます。

厚労省の試算によると、2040年には65万人の介護職員が不足されると発表されており、加えて、22年度は介護で働き始めた人を辞めた人が上回り、6万人以上が離職しております。さらに、あきる野市は2040年までに人口が減少するなか、高齢者は増加する見込みとなっており、益々、社会福祉の担い手確保が厳しく、困難な課題となっております。

昨年度から開始した1号特定技能の雇用者は、今年度で9名まで増員する予定であり、当苑における職員不足解消の軸となっております。本年も、更なる国際化を推進することで、利用者様に安定したサービスの継続が約束できると考えております。

そして、コロナ禍の生活から、少しずつコロナ前の状態に戻り、今では目の前の景色が元に戻りつつあります。あたご苑でも、外出の機会を設け、地域との繋がりを回復することにより、少しずつではありますが、利用者様の楽しみが増加しております。外出先で、楽しそうに談笑される利用者様を拝見した時に、マスクを買えなかった時期が遠い昔のように感じました。「コロナ以前の生活にそのまま戻すのではなく、進化させる必要がある」との方策の基、今まで以上に楽しみを増やす提案をまいりますので、どうぞご期待ください。

本年も、利用者様をはじめ、ご家族様、地域の皆様、たくさんの笑顔と幸せが訪れるよう、社会福祉に職員一同、全力で取り組みますので、よろしくお願いたします。



# 日帰り旅行

令和5年11月2日（木）  
日帰り旅行で山梨に行きました。  
昼食にほうとうを召し上がり、  
旅行中笑顔で楽しめました。



お店の前で記念撮影 4階



ウキウキ☆



2階



ほうとうおいしい～！



3階



アイスも食べました



旅行の記念に撮影

# 炊き出し訓練

令和5年11月29日（水）  
地域の皆様と合同で炊き出し訓練を行いました。  
非常用備蓄食品を使用してキーマカレーを調理しました。  
試食会では皆様おかわりされる程、美味しく作ることができました。





# 開苑記念日

12月1日は開苑記念日。令和5年で37年を迎えました。記念行事としてお汁粉を作り、レクリエーションを開催して利用者様をおもてなしました。

お餅の代わりに職員が手作りした白玉は軟らかく、召し上がられた利用者様から「おいしかった!」と好評でした。



# クリスマス

# プレゼント

令和5年12月20日(水)

五日市保育園園児22名が来苑されました。

当日は園児たちが可愛い衣装に着替え、役になりきって歌や踊りを披露してくださいました。

食堂は一斉にクリスマスモードに変わり、園児の台詞も元気な大きな声で、利用者様も聞き取りやすい様子でした。

園児の表情や声で利用者様の表情も和らぎ、楽しまれていました。

コロナ禍で中々開催することができませんでしたが、5年ぶりに開催でき、今後もこのような交流が続くことを祈ります。





## ケアハウス近況報告

この時期は空気も乾燥していて、風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症が気になります。感染症対策は継続しており、利用者の皆様は元気に過ごされています。

12月21日には、冬至のゆず湯を共同浴室で実施しました。利用者の方々は「良い香りがして心も体も温まった」と喜んでいました。

12月23日にはクリスマス会を実施しました。ケーキを用意し、クリスマスツリーを見てクリスマスソングを聴きながら、職員も一緒に楽しみました。

元日には、常務理事と施設長から新年のご挨拶をいただき、お正月料理とお雑煮などを楽しめました。

まだまだ寒い日が続きますが、元気な利用者様に負けないように、頑張りたいと思います。



事務室  
山本 一也

## 新入職員紹介



給食室  
磯部 直希

まず、一言。直木賞作家、になるかもしれない私に、文章を注文してくるとは…いいでしょう、再入職のキッカケを書きましょう。

長い戦を終え定年を迎えた兵士は、村に帰り安寧な日々を送っていた。そんな所に退役したばかりの城より「再び従者として戻ってこないか」と伝令が入る。城を訪れると、満面のつくり笑いを浮かべて出迎えてくる魔王と大臣たちの姿があった。話を聞くと、馬車の不具合を解消するべく新しいパイロットとして仕えてくれないか、とのことであった。

定年退職後に、再入職しました。

私の気分転換の方法は、妄想です。

十代の頃から飲食に興味があり、蕎麦屋で12年修行し経験を積んだ後、家族と協力しながら17年半ほど蕎麦屋を自営していましたが、時代の流れとともにいろいろな変化があり、昨年の7月に閉店しました。その際、近所の知り合いの方からあたご苑を紹介していただき、入職させていただくことになりました。

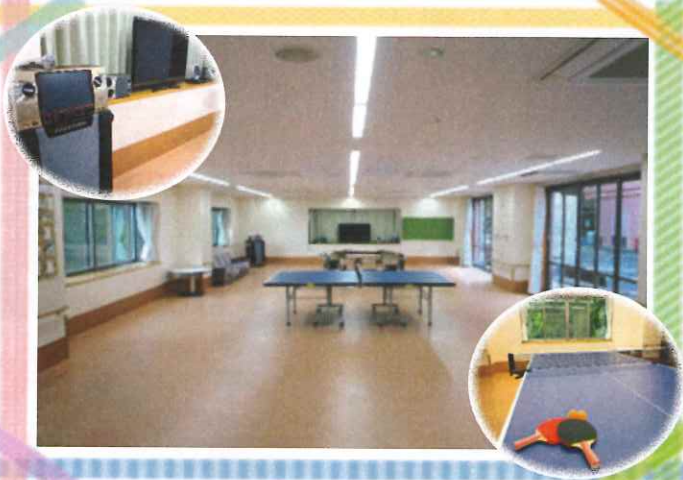
この出会いを大切に、利用者様に満足していただける食事を作っていきたいと思います。

## 新館開放事業について

『あたご苑新館ホール無料開放』事業は、あきる野市及び周辺地域のみなさまに催し物や習い事などの場として提供し、周辺地域とのつながりを持つことで、利用者様が施設で生活をしながら社会参加したり、生活していることを実感できる多目的ホールとして、また、スタッフ等による専門性を生かした福祉情報の発信や介護技術教室の開催など様々な事業を展開していくことを目的としています。

会合の会場、カラオケ、ボッチャ、ハワイアンダンス、津軽三味線・太鼓演奏会、舞踊、卓球、音楽レクリエーション、専門職による講習会等、実施しています。是非ご利用ください。ご連絡お待ちしております。

☎042(596)5151(新館開放事業担当まで)



## 編集後記

笑顔満載な緑愛会だよりが完成しました。本年も、ご愛読いただけますと幸いです。

(編集委員一同)